

おしっこの色で分かる健康状態

監修：川崎幸病院 検査科 臨床検査技師 佐藤 由麻

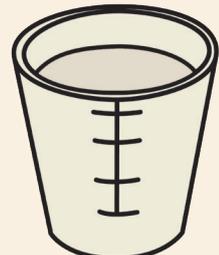
あなたのおしっこ、何色ですか？



①水様～透明



②乳白色



③乳白色～灰白色



④淡黄色



⑤黄色



⑥薄い藁色



⑦赤レンガ～ピンク



⑧ピンク、赤紅色



⑨褐色白色混合



⑩茶～褐色



⑪赤褐色、コーラ色



⑫黒色

裏面に解説が掲載されています。

おしっこの色 それは、体の状態を知らせるサイン

※食事や服用薬によっても変化するため、全ての方に当てはまらず、必ずしも病気と結びつくとは限りませんのでご注意ください

①水様～透明



尿崩症や糖尿病などの病気が原因の多尿、重篤な腎機能障害、乏尿でも無色の尿となります。水分を多量にとった場合にも起きます。続く場合は要注意です。

②乳白色



尿の中に白血球や細菌が多く混じっています。尿路系の炎症、「腎盂炎」が疑われます。「フィラリア」症でも見られます。

③乳白色～灰白色



タンパクがたくさん尿に出ていることが原因です。多数の細やかな泡立ちが見られます。「ネフローゼ症候群」に見られます。

④淡黄色



健常者に良く見られます。

⑤黄色



健常者に良く見られます。

⑥薄い薬色



健常者に良く見られます。

⑦赤レンガ～ピンク



尿が酸性となっているために表れます。尿酸値が高いと「痛風」や「メタボリックシンドローム」、「尿路結石」の原因にもなります。

⑧ピンク、赤紅色



血液が尿に混じってから、あまり時間が経っていないことを表しています。尿道、膀胱、腎臓での出血の可能性もあります。

⑨褐色白色混合



感染症に出血が伴った場合に見られます。

⑩茶～褐色



「閉塞性黄疸」（本来、腸の中に排出される胆汁が血液の中に逆流して起こる黄疸）や「肝細胞障害」の可能性もあります。

⑪赤褐色、コーラ色



多くは腎臓が原因による場合が多いです。

⑫黒色



遺伝性の病気「アルカプトン尿症」や皮膚がんの一種「悪性黒色腫」が転移した際に表れる場合がある「メラニン尿」の可能性もあります。

<メッセージ>



おしっこには、体の不調のサインが隠れていることもあります。

日頃からおしっこの色を確認し、健康管理を行ってみましょう。

おしっこの色で気になることがあれば、早めに受診されることをお勧めします。



<11月11日は臨床検査の日>

臨床検査が病気の早期発見や早期治療につながる有用なものであることを、広く知って頂くために、臨床検査振興協議会によって定められました。

十一月十一日を臨床検査で不可欠な+（プラス）、-（マイナス）を組み合わせ（検査結果・心電図の電極などに使用）に見立てています。